

## 千葉県庁エコオフィスの平成26年度取組結果について

県では、「千葉県庁エコオフィスプラン～千葉県地球温暖化防止対策実行計画事務事業編（第3次）～」を策定し、県自らの事務・事業による温室効果ガスの排出量削減など環境負荷の低減に取り組み、その結果を毎年度公表することとしています。平成26年度の取組結果は以下のとおりです。

### 1 エコオフィスプランの概要

#### (1) 計画の期間

平成25年度から平成32年度までの8年間

#### (2) 計画の基準年度

平成22年度

#### (3) 計画の対象

##### ア 対象とする温室効果ガス

①二酸化炭素 ②メタン ③一酸化二窒素 ④ハイドロフルオロカーボン

##### イ 対象範囲

県の全ての機関（ただし、委託等により実施する公共工事等、警察車両の使用など警察業務の一部については排出量算定に含めない。）

#### (4) 目標

##### ア 温室効果ガス削減の目標

二酸化炭素排出量を、平成22年度（294,150トン）に比べ、平成32年度までに8パーセント削減を目指す。ただし、他の温室効果ガスについても、毎年度、排出量を算定するとともに削減に努める。

##### イ 項目別の削減目標

取組項目	目標設定所属	数値目標
庁舎等エネルギー使用量の削減	庁舎等を管理する所属	二酸化炭素排出量 年平均1%削減を目標として、エネルギー種別ごとに設定  業務の性質等を考慮しつつ、改善に努めるための数値目標を設定
水道使用量の削減	庁舎等を管理する所属	
廃棄物の削減		
公用車等燃料使用量の削減	公用車、船舶を管理する所属	
用紙使用量の削減	全所属	
環境配慮物品（事務用品）の調達		

#### (5) 重点的な取組

##### ア エネルギーの削減

①庁舎等のエネルギー使用量の削減 ②公用車等エネルギー使用量の削減

##### イ 省資源の推進

①用紙使用量の削減 ②環境配慮物品調達の推進 ③水使用量の削減  
④廃棄物の減量化・再資源化

#### (6) 推進と点検・評価

環境マネジメントシステムのPDCAサイクル（Plan＝計画、Do＝実施・運用、Check＝点検、Act＝見直し）を基本として取組の推進及び点検・評価を行い、計画の推進を図る。

## 2 平成26年度の取組結果

### (1) エネルギーの削減

平成26年度の県の事務・事業に伴う二酸化炭素の排出量は265,676トンで、基準年度の排出量から9.7パーセントの減少となり、平成26年度は目標の8パーセント削減を達成しました。引き続きエネルギー使用量の削減に努めます。

県の事務・事業に伴う二酸化炭素排出量

単位：t-CO<sub>2</sub>

区 分	二酸化炭素 排出量	基準年度 (平成22年度) 二酸化炭素 排出量	基準年度 からの増減
電気	226,552	245,021	▲7.5%
庁舎等燃料使用量	33,823	43,491	▲22.2%
都市ガス	22,241		
LPガス	1,665		
灯油	5,340		
A重油	4,532		
B・C重油	4		
ガソリン	23		
軽油	18		
公用車燃料使用量	2,491	2,797	▲10.9%
ガソリン	1,775		
軽油	692		
LPガス	0		
天然ガス	24		
船舶燃料使用量	2,811	2,842	▲1.1%
A重油	2,424		
軽油	379		
ガソリン	7		
合計	265,676	294,150	▲9.7%

\* 端数処理（四捨五入）の関係で「合計」が一致しない場合がある。

### (2) 省資源の推進

区 分	実 績	基準年度 (平成22年度) 実績	基準年度 からの増減
水道使用量(千m <sup>3</sup> )	1,686	1,957	▲13.8%
用紙使用量(千枚)	361,252	312,022	+15.8%
廃棄物(t)	5,118	7,437	▲31.2%
環境配慮物品の調達率(%)	85.9	89.1	▲3.6%

## ※ 温室効果ガスの総排出量

エコオフィスプランでは、温室効果ガスのうち最も排出量が多くエネルギー使用と直結する二酸化炭素について削減目標を設定していますが、その他の温室効果ガス（メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン）についても、排出量を把握し、削減に努めることとしています。

平成26年度の県の事務・事業に伴う温室効果ガスの総排出量は 348,361 トンで、基準年度の排出量から 7.2 パーセントの減少となりました。

### 県の事務・事業に伴う温室効果ガス総排出量

単位：t-CO<sub>2</sub>

区 分	二酸化炭素	メタン	一酸化二窒素	ハイドロフルオロカーボン	温室効果ガス総排出量	基準年度(平成22年度)温室効果ガス総排出量	基準年度からの増減
電気	226,552				226,552	245,021	▲7.5%
庁舎等燃料	33,823				33,823	43,491	▲22.2%
公用車燃料	2,491	1	62		2,554	2,870	▲11.0%
船舶燃料	2,811	6	24		2,840	2,872	▲1.1%
自動車エアコン				20	20	16	+25.0%
麻酔剤(笑気ガス)			654		654	447	+46.3%
家畜の飼育、糞尿処理等		1,289	433		1,722	2,011	▲14.4%
水田		143			143	139	+2.9%
農作物の栽培に使用された肥料			91		91	100	▲9.0%
下水処理・下水汚泥の焼却		6,677	73,284		79,962	78,610	+1.7%
合計	265,676	8,116	74,549	20	348,361	375,576	▲7.2%

\* 端数処理（四捨五入）の関係で「合計」又は「温室効果ガス総排出量」が一致しない場合がある。

\* メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボンは、二酸化炭素排出量に換算した値である。